

パオちゃん's EYE

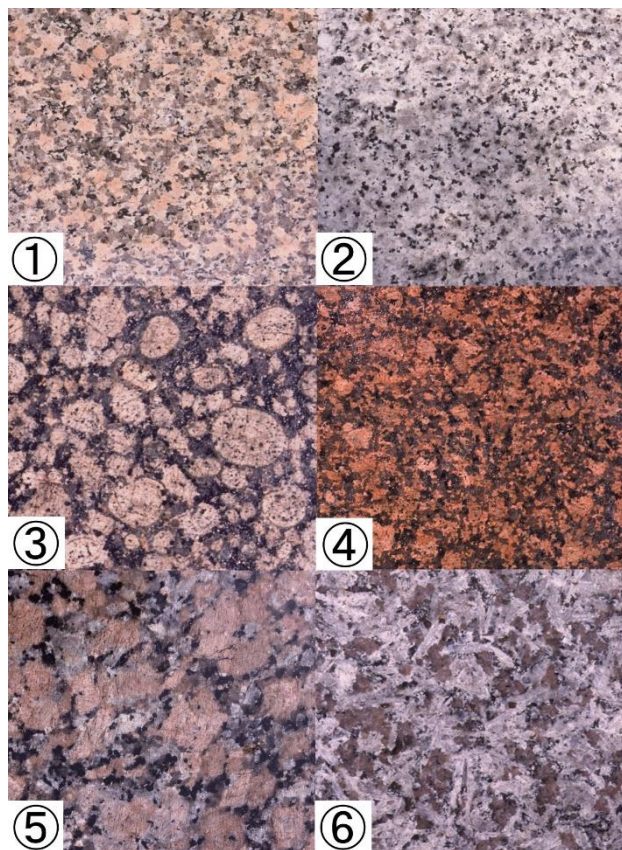
2025年2月1日 発行 No.95

町中で石材として使われている花こう岩

町中のビルの外壁や路上には、磨かれたいろいろな花こう岩石材が使われています。日本産では、石材名で「万成石」(写真①)と呼ばれている岡山市産のものや、「北木石」(写真②)と呼ばれている笠岡市北木島産のものなどが有名です。しかし、海外から輸入された花こう岩石材も多く、例えば石材名で「バルチックブラウン」(写真③)というフィンランド産のものや、石材名で「インペリアルレッド」(写真④)というスウェーデン産のものなどが有名です。「バルチックブラウン」はラパキビ花こう岩という特殊な花こう岩で、径3～5cm程度の大きな丸い淡褐色のアルカリ長石がたくさん入っています。「インペリアルレッド」は真っ赤な花こう岩で、ブラジルなどからもよく似たものが産出します。石材名で「テキサスピンク」(写真⑤)と呼ばれているアメリカ産の粗い模様の花こう岩もよくあります。一般的に外国産の花こう岩石材は濃い赤色や褐色の派手な模様で、生成年代が約10億～20億年前という非常に古い大陸の花こう岩です。一方、日本のような環太平洋造山帯の花こう岩石材は色が淡く目立った模様がなく、約3000万～1億年前のものが多いです。

また、花こう岩に近い閃長岩(せんちょうがん)という岩石も石材としてよく使われ、石材名で「シエニトモンシーク」(写真⑥)というポルトガル産のものや、石材名で「ラルビカイト」というノルウェー産のものなどがあります。「ラルビカイト」は全体が灰青色で青白い閃光を發します。

これらの石材は JR 岡山駅の東約300mの西川緑道公園の路上に多くあります。石材が濡れている雨の日は観察しやすいでしょう。



写真：①岡山市万成産「万成石」、②笠岡市北木島産「北木石」、③フィンランド産「バルチックブラウン」、④スウェーデン産「インペリアルレッド」、⑤アメリカ産「テキサスピンク」、⑥ポルトガル産「シエニトモンシーク」

武智泰史(地学担当)

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」
は博物館ホームページでカラーで見られるよ!

